

## 委託利用申込書（走査型プローブ顕微鏡）

研究基盤総合センター センター長 殿

下記のとおり分析願います。なお、分析結果の取り扱いについては、筑波大学研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室登録機器共同利用等に関する細則を遵守します。

記

申込番号			
利用者	所属	系 / 域、専攻 / 学類	
	職名 / 年次		
	氏名		
	内線 / TEL		
	メールアドレス	.tsukuba.ac.jp	
利用責任者 (費用振替責任者)	所属	系 / 域	
	職名		
	氏名	印	
	内線 / TEL		
	メールアドレス	.tsukuba.ac.jp	

検体数	
試料の種類	
試料の内容、検体番号ごとに簡単にご記入ください。	

以下分析部門で記入

受付	令和 年 月 日	係確認		分析時間	時間
受託の可否 (可・否)		否の理由			
分析期日	令和 年 月 日	分析者氏名			

分析結果受領	令和 年 月 日	受領者署名	
--------	----------	-------	--

(申込上の注意及び関連細則は裏面)

<申込上の注意>

- 1 年次は D3、M2、B4 等と略記すること。
- 2 利用責任者の氏名欄は署名又は記名押印すること。
- 3 電話は研究室等の番号（大学の内線電話番号）を記入すること。
- 4 分析試料ごとに、検体番号・氏名を必ず記入すること。
- 5 分析は立会いを原則とする。
- 6 試料の形状等を確認するため、事前に相談すること。
- 7 分析方法は原則として大気中の AFM（コンタクトモード）およびDFM（タッピングモード） とします。
- 8 測定は受付順に行うが、1回の申込数が多い場合は、間に別の試料を測定することがあるので、承知しておくこと。
- 9 記入個所、または事前打ち合わせ時に不明な点がある場合には、受け付けることができません。
- 10 サンプルと得られたデータは、必ず研究基盤総合センター分析部門から直接持ち帰ること。
- 11 データ解析は、原則として取得データの持ち帰り後に自身で行うこと。